**瀬戸大橋**

現代建築工学の驚異的な成果である全長13キロの瀬戸大橋は、本州の岡山県と四国の香川県を結んでいます。この堂々とした構造物は実際には10基の連続した二段構造の橋からなり、上層は自動車道路、下層は鉄道になっています。この瀬戸大橋は世界最長の二段構造の橋です。1978年から1988年まで10年間かけて建設されました。その苦心の経緯の詳細は、橋の四国側のたもとにある、坂出市の瀬戸大橋記念公園で知ることができます。入場料無料の記念館では、この建設プロジェクトが直面した難題や達成した偉業について詳しく説明しています。地上108メートルの瀬戸大橋タワーからは橋全体と、橋の下や両側に位置する瀬戸内海の島々を眺めることができます。橋を渡るのに自動車では約15分かかります。四国側の宇多津駅と岡山県の児島駅の間を列車で移動する場合も同じくらいです。